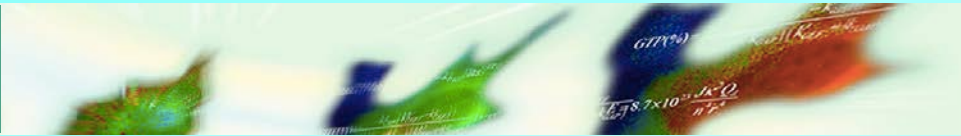
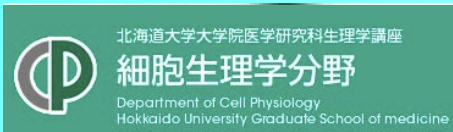


脳機能医工学研究センター・教育研究推進センター 合同講演会

(第13回教育研究推進センター講演会)



『蛍光バイオイメージングによるシグナル伝達の可視化とその応用』

日時：平成27年9月28日(月曜日) 16時00分-17時00分

会場：旭川医科大学

教育研究推進センター3Fカンファレンスルーム

演者：北海道大学大学院医学研究科

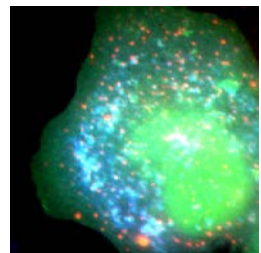
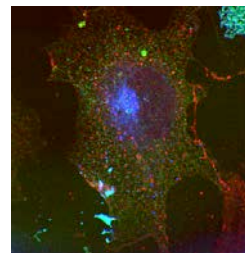
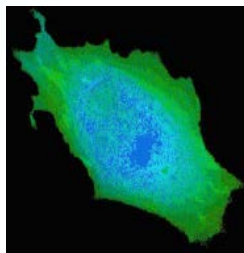
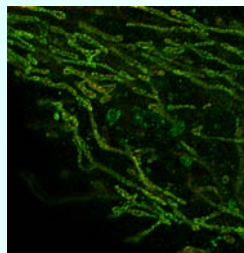
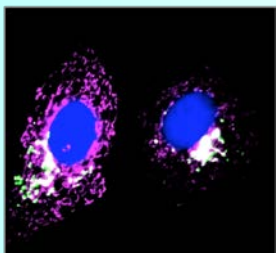
細胞生理学分野 教授 大場雄介 先生



ABSTRACT

私達の研究室では、緑色蛍光タンパク質 (green fluorescent protein, GFP)、フェルスター共鳴エネルギー移動 (Förster/fluorescence resonance energy transfer, FRET) や蛍光蛋白質再構成法 (bimolecular fluorescence complementation, BiFC) 等の技術を用いたシグナル伝達研究を行っている。これらの技術は、生きた細胞でのタンパク質の動態やタンパク質間相互作用、活性化・不活性化のプロセスなどをリアルタイムに可視化することから、シグナル伝達のダイナミクスを解析するための最適なツールと言える。これらの技術を用いた解析から明らかになった以下のトピックスについて、最近のデータを交えて紹介し、イメージング技術が秘める今後の可能性について議論したい。

- (1) 受容体のヘテロ二量体化とエンドサイトーシスを介したシグナル伝達調節機構
- (2) エンドサイトーシスとインフルエンザウイルス感染を制御する分子マシナリー
- (3) FRETによる薬剤感受性試験の開発と薬剤耐性克服戦略



なお、セミナーを撮影したビデオを学内限定で公開させていただきます事をご了承下さい。



主催：脳機能医工学研究センター・教育研究推進センター

連絡先：高草木 薫・船越 洋(内線：2886)